

令和元年 7月 25日 実施

「親子で学ぼう！読書感想文」保護者プログラムの様子

講師：福地 朋子さん

(一般社団法人教育コミュニケーション協会 キッズ作文トレーナー)



【講座のはじめ】

★今日の講座は、「子どもが自分の意見や感情を言葉にすることができるようになる」ために、大人がその引き出し方を知ることを目的としています。

【今日の目的】

- ・大人→意見や感情を引き出す
- ・子ども→言葉で言えるようになる。

【子どもの気持ちを引き出すために】

★ルールに則れば、誰でもわかりやすく説明できます。

自分の意見や感情をうまく伝えられるのは、どんな子でしょうか？頭がいい子でしょうか、それとも、しっかりしている子でしょうか？いいえ、違います。ルールに則れば、誰でも、わかりやすく説明できるようになります！

★子どもの「教えたてい！」という気持ちを大事にします。

大人の質問に対して、子どもの答えが「正しい答え」でないとき、「そうじゃない！」と、その考えを否定していませんか？

大事にしたいのは、子どもの「教えたてい！」という気持ちです。「教えたてい！」は伝える原動力になります。それを引き出すには、大人の「聞きたい」という姿勢が大切です。

★子どもが読書感想文の宿題をする際には、「感想」を聞くのではなく、「教えたていと思ったところ」を聞いてみてください。「教えたてい」という気持ちをもたせる、そのための環境づくりこそ大人がしなければならないのです。

★「説明力」はセンスではなく、「科学」です。わかりやすく説明する公式が必ず存在します。

★わかりやすく伝える「説明力」を磨けば、物事の本質を捉える力が身につきます。そして、自分で考えて、判断ができる、「生きる力」が育つのです。



【大人も作文を書いてみよう！】

★では、大人も作文を書いてみましょう。作文のテーマは「うちの子のいいところ・すてきなところ」です。

ワークシートの中身は、子どもたちが書いているものと同じです。子どもたちが書いているものを、ぜひ体験してみましょう！

★このワークシートは「意見や感情を引き出す7つの質問」をベースに作ってあります。

気持ちを先に聞き、後で事実関係を聞くという順番になっていて、この順番は承認欲求が満たされる順番になっています。5W1Hから聞くと、気持ちは出にくくなります。

★忘れてはならない大人の心構えが「ダメ出しをしない」ということです。7つの質問の答えは、その子だけの経験に基づくものだからです。その答えに間違いはないし、正解もありません。ほめポイントは、自分の考えや気持ちがどれだけ表現できたか、ということなのです。



【最後に】

★子どもたちも、がんばってワークシートを書いたと思います。まずは読んでみて、自分の気持ちが表現できていることをほめてあげてくださいね。



♡アンケートより♡

- ・読書感想文の書き方だけでなく、子供たちへの接し方も大変参考になりました。子どもたちの話に耳を傾けて、楽しく会話していきたいと思います。
- ・先生のお話は読書感想文の書き方だけでなく、子育てに通じるものがあった大変参考になりました。
- ・すばらしいです。子育ての毎日にも生かしていきたいです。
- ・具体的な方法を教えていただけると実践してみようと思います。小6の息子は本が大好きで本当は何か思ったり感じたりしているはずなのにいつも「何も思わない」というので・・・
- ・「だまって待つ」「余裕を与える」「ダメ出ししない」いやーええこといっぱい教えてもらいました！！ありがとうございました。
- ・システムティックに作文するのはとても良いと思いました。
- ・作文は主観を書くものと考えがちだが、「書き方」自体は客観的で科学的に取り組める点が大変参考になった